

第1条 宣言者である私、〇〇〇〇は、私が将来何らかの病気を患い、それが不治のものであり、かつ、その病気が原因で死が迫っている場合に備えて、私の親族、友人並びに私の医療に携わる方々に自らの死の在り方について、心身共に健全である現在のうちに次のとおり希望を申し述べます。また、この希望は公正証書により撤回されない限りは、その効力は持続されるものであることを申し添えます。

第2条

- 1 私の疾病が、現在の医学では不治の状態に陥り既に死期が迫っていると担当医を含む2名以上の医師により診断された場合には、死期を延ばすための延命措置（気管内挿管、人工呼吸器の装着、胃瘻など）は一切行わないでください。
- 2 しかし、私の苦痛を和らげる処置は最大限に実施してください。そのために、麻薬等の副作用により死亡時期が早まったとしてもかまいません。
- 3 以上のとおり、人間としての尊厳を保った安らかな最後、すなわち尊厳死が迎えられるようにご配慮願います。

第3条 私のこの宣言による要望を忠実に果たしてくださる方々に、深く感謝申し上げます。そして、その方々が私の要望に従ってされた行為の一切の責任は、私自身にあります。

警察・検察の関係者におかれましては、私の親族、友人や医師が私の意思に沿った行動を執ったことにより、これらの者を犯罪捜査や訴追の対象とすることのないよう特にお願ひします。

第4条 この宣言は、私の精神が健全な状態にあるときにしたものであります。したがって、私の精神が健全な状態にあるときに私自身が破棄または撤回しない限り、その効力は持続するものであることを明らかにしておきます。

以上